

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日口診誌 21(2):169-173 2008年10月	ピラン型の扁平苔癬の難治化に関する検討-歯周病との関連について	内藤浩美、大橋一之、神部芳則、野口忠秀、草間幹夫	歯科口腔外科
歯科放射線 48(1):8-11 2009年3月	Square-Mandible顔貌を伴う開口制限の1例	岡田成生、上野泰宏、星健太郎、伊藤弘人、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:133-137 2008年8月	下顎骨骨髓炎に対する高気圧酸素療法の有効性の評価	土屋欣之、山下雅子、福島聡、早坂純一、中山竜司、伊藤弘人、野口忠秀、小佐野仁志、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:139-143 2008年8月	当院における入院患者への口腔ケアの実態と当科の取り組み	土屋欣之、山下雅子、早坂純一、中山竜司、伊藤弘人、野口忠秀、小佐野仁志、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
日口診誌 22(1):96-99 2009年3月	SLE患者の耳下線にみられた線維素性唾液管炎と 思われた1例	宮城徳人、野口忠秀、伊藤弘人、松本浩一、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
日口外誌 55(1):22-24 2009年1月	舌に発生した筋繊維腫様病変の1例	中山竜司、星健太郎、岡田成生、篠崎泰久、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科
口腔腫瘍 21(1):45-50 2009年3月	下顎骨再建プレートと軟組織再建を用いた下顎再建例における合併症の検討	野口忠秀、土屋欣之、伊藤弘人、松本浩一、小佐野仁志、神部芳則、草野幹夫	歯科口腔外科
日口外誌 55(1):19-21 2009年1月	下唇に生じた放射菌症の1例	上野泰宏、神部芳則、篠崎泰久、草野幹夫	歯科口腔外科
Oral Med Pathol 12(3):97-99 2008年6月	Oral ulceration due to an antirheumatic drug (methotrexate) Report of a case.	Jinbu Y. Obi Y. Kawa R. Ikeda K. Kusama M. Tsukinoki K.	歯科口腔外科
The Bull Kanagawa Dent. Col. 37(1):13-17 2009年3月	Immunohistochemical Analysis For Stathmin Expression Pattern and Invasion Mode of Tongue Cancer.	Jinbu Y. Obi Y. Ohyatsu Y. Ueno Y. Hayasaka J. Shinozaki Y. Ikeda K. Itoh H. Noguchi T. Kusama M. Tsukinoki K.	歯科口腔外科
Asian J Oral Maxillofac Surg 20:89-93,2008年6月	Chronic Paracoccidioidomycosis in Japan.	Lumi. thais. Sunada Yoshinori. Jinbu Yuka	歯科口腔外科

計 17

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トキシコゲノミクス研究の臨床への展開	草間 幹夫	歯科口腔外科	1,800,000	補委 厚生科学研究費補助金
メタボリックシンドロームの保健指導に歯科的な観点を導入することの効果に関する研究	草間 幹夫	歯科口腔外科	700,000	補委 厚生科学研究費補助金
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日口粘膜誌 14(2):46-50, 2008年12月	小児に生じた肉芽種性口唇炎の1例	河瑠珠、神部芳則、小尾友梨、池田薫、草間幹夫、出光俊郎	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:113-115 2008年8月	舌根部に発生した骨性分離腫の1例	草間幹夫、鹿志村圭、野口忠秀、中山竜司、早坂純一、伊藤弘人、寺内由佳	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:101-105 2008年8月	Vitamin B12欠乏症による委縮性舌炎の2例	草間幹夫、河瑠珠、池田薫、小尾友梨、佐瀬美和子、野口忠秀、神部芳則	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:107-111 2008年8月	ステロイドが著効したMikulicz病の1例	草間幹夫、折居大輔、松村俊男、大谷津幸生、早坂純一、伊藤弘人、上野泰宏、神部芳則	歯科口腔外科
栃木歯医学会誌 60:117-119 2008年8月	長期におよぶ歯痛と咬合異常を主訴とした1例	草間幹夫、小佐野仁志、高橋淳、平塚正樹、吉田佳織	歯科口腔外科
茨城歯医学会誌 16:6-9 2008年8月	舌尖部に生じたverrucous carcinomaの1例	宮城徳人、星健太郎、串田淳子、松村俊男、野口忠秀、神部芳則、草間幹夫	歯科口腔外科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
胎生期大動脈由来Sca-1陽性細胞の腎内皮障害に対する有用性	伊藤 千春	腎臓内科	1,200,000円	補委 文部科学省 科学研究費
異種移植に向けた後腎グラフトの内分泌機能についての検討	武田 真一	腎臓内科	1,300,000円	補委 文部科学省 科学研究費
皮質集合管のナトリウム再吸収と連動しないカリウム分泌機序の解明	武藤 重明	透析部	2,100,000円	補委 文部科学省 科学研究費
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 3

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
腎と透析 66(3):328-332,2009	腎間葉細胞移植による腎機能再生	武田 真一	腎臓内科
Tohoku journal of experimental medicine	TGF-beta inhibits vascular sprouting through TGF-beta type I receptor in the mouse embryonic	伊藤 千春	腎臓内科
Kidney International 75(11):1173-1183,2009.	Transactivation of RON receptor tyrosine kinase by interaction with PDGF receptor beta during steady-state growth of human mesangial cells.	小林 高久	腎臓内科
Kidney International 75(1):25-30,2009.	Basolateral Na ⁺ /H ⁺ exchange maintains potassium secretion during diminished sodium transport in the rabbit cortical collecting duct.	武藤 重明	透析部

計 4

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価とpositron emission tomography(PET)による有効性の評価	中野今治	神経内科学部門	58,685,000	補委 厚生労働省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosci Res	Activated microglia affect the nigro-striatal dopamine neurons differently in neonatal and aged mice treated with 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine.	中野今治	神経内科

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
稀少難治性皮膚疾患に関する研究調査	小宮根真弓	皮膚科学	150万円	補 委	厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
炎症性皮膚疾患におけるケモカインの発現制御に関する研究	小宮根真弓	皮膚科学	70万円	補 委	文部科学省科学研究費
皮膚悪性腫瘍に対する新規サイトカイン療法への探索研究	佐藤篤子	皮膚科学	100万円	補 委	文部科学省科学研究費
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計 3

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cytokine	CCR4 and CCR10 are expressed on epidermal keratinocytes and are involved in cutaneous immune reaction CCR4 and CCR10 are expressed on epidermal keratinocytes and are involved in cutaneous immune reaction	Fujimoto S	Dermatology
The Journal of Dermatology	Juvenile pustular psoriasis associated with steroid withdrawal syndrome due to topical corticosteroid.	Saeki H	Dermatology
皮膚科の臨床	強直性脊椎炎型関節症性乾癬の1例	和泉里江子	Dermatology
日本皮膚科学会雑誌	腎障害を伴った汎発性膿疱性乾癬	南谷洋策	Dermatology

計 4

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 島田 和幸
管理担当者氏名	病院事務部長 高橋 喜代志

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴室及びそれぞれの部署にて電子管理	患者ごとの患者受信登録番号による
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
	高度の医療の研修の実績	経営管理課	
	閲覧実績	経営管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営管理課及び薬剤部	
確規保則の第 9 条の 2 及び第 1 条の 1 各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	人事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	人事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	人事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	経営管理課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策部		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全対策部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全対策部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	用度課及び臨床工学部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全対策部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 島田 和幸
閲覧担当者氏名	病院事務部長 高橋 喜代志
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.8 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		23,346人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		22,300人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,256人
	D: 初診の患者の数		49,006人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (11) 名・ 活動の主な内容： 研修会、講演会の企画・運営 事例の情報収集・分析・検討 医療安全対策委員会 リスクマネージャー会議の開催	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： 基本理念 医療安全対策委員会・院内組織に関すること 重大事故の発生時の対応	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容： 報告件数の推移を報告 事例報告・検討 対応・改善策の提案	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 35 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： 輸液・シリンジポンプ研修 中心静脈カテーテル挿入認定講習 エコー下中心静脈カテーテル挿入研修 研修医研修	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 危険だと感じるところを報告するシステムのKYポスト (危険予知報告システム) 事例検討会 院内巡視 勉強会 講演会	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>4/3 新人看護師研修会（麻薬・向精神薬・毒薬等の取り扱いと管理）</p> <p>4/4 レジデントオリエンテーション（薬の処方及び麻薬の取り扱い）</p> <p>6/2 医薬品使用に関する安全管理（与薬のインシデント防止）</p> <p>7/11 2A病棟看護師研修（麻薬・向精神薬・毒薬の院内取り扱いについて）</p> <p>11/26 医薬品安全管理研修会（麻薬の取り扱い・医薬品安全使用のための講演会）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>手順書の改定と危険薬の再周知</p> <p>定数配置された向精神薬・毒薬の管理票に基づく管理</p> <p>救急カート整備マニュアルの改訂</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>注射用メソトレキセート5mg供給再開遅れに伴う注意喚起</p> <p>期限切れ注射薬使用による医療事故防止対策</p> <p>医療安全対策VTR（薬剤部編）作成</p> <p>サリドマイド製剤（サレドカプセル）入院時持参薬の取り扱いマニュアル作成</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>①人工呼吸器について（医師、看護師対象）</p> <p>②輸液シリンジポンプについて（看護師対象）</p> <p>③除細動器について（医師対象）</p> <p>④AEDについて（看護師、歯科衛生士等対象）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 （有・無）</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>①人工心肺装置及び補助循環装置 ②人工呼吸器 ③血液浄化装置 ④除細動装置</p> <p>⑤閉鎖式保育器 ⑥診療用高エネルギー放射線発生装置 ⑦診療用放射線照射装置について保守点検計画を策定し実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①医療機器の安全使用のために必要な情報を収集した場合は、共通の認識を持つために関連部署への情報提供</p> <p>②医療機器の安全使用のための研修会実施</p> <p>③医療機器の安全使用を目的とした事例の分析、検討、報告</p> <p>④医療安全対策部において医療安全に係る情報を掲載した「あんぜん便り」という文書を作成、各部署に配布することにより、医療機器の安全使用を目的とした改善策等についての情報を提供している。</p>	